

2021年度 事業報告書

2021年6月1日から2022年5月31日まで

特定非営利活動法人語りつぐ青函連絡船の会

1 事業の成果

研究公開事業は、デジタル化して摩周丸内で閲覧に供している「青函連絡船の運航記録」をユネスコ「世界の記憶」国際登録の国内案件に申請したが落選した。そのほか、冊子「青函連絡船100年」を再版した。保存展示事業（摩周丸事業）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で入館者数は前年度同様となった（例年の半分以下）。教育啓発事業も前年度同様ほとんど行えなかったが、1/500十和田丸（初代）模型の寄贈を受けたので修復しJRイン函館（ホテル内に展示）に再寄贈した。教育啓発事業中の物品頒布および物品販売事業は、仕入れや新製品開発を抑えたことに反して意外に売上が伸びたため、大幅な黒字になった。喫茶事業は事実上通年休業した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
鉄道連絡船に関する資料、産業遺産の収集、調査、研究、公開事業	研究公開事業	青函連絡船を中心に船と鉄道に関する資料を収蔵公開する私設図書館（いるか文庫）の運営及び青函連絡船に関する図書の編集出版。	随時。いるか文庫は通年（水・木曜日定休）	函館駅2階いるか文庫ほか	3人	道南住民及び旅行者約10,000人	515,980
鉄道連絡船に関する資料、産業遺産の保存、管理、展示事業	保存展示事業	旧青函連絡船を活用した博物館船（函館市青函連絡船記念館摩周丸）の管理運営。	通年	函館市青函連絡船記念館摩周丸	10人	道南住民及び旅行者約25,000人	32,953,933
鉄道連絡船の歴史と文化に関する教育、啓発、情報提供事業	教育啓発事業	青函連絡船の歴史、技術、文化の学習理解、摩周丸の広報宣伝を目的とした企画展、セミナー、イベント等の実施及び物品の製作頒布。	随時	函館市青函連絡船記念館摩周丸ほか	10人	日本全国約25,000人	2,985,612
						支出合計	36,455,525

(2) その他の事業

定款の事業名	事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	支出額	
前項（特定非営利活動に係る事業）に関連するものを除く図書、物品等の販売事業	物品販売事業	鉄道連絡船に関連しない図書、物品等の販売。	通年	函館駅2階いるか文庫／函館市青函連絡船記念館摩周丸	6人	530,932	
飲食店及び喫茶事業	喫茶事業	飲食物の提供。	通年	函館市青函連絡船記念館摩周丸	1人	7,506	
会員相互の交流を図る事業	会員交流事業	懇親会、見学会、旅行会等の実施。	本年度は実施しなかった			0	
						支出合計	538,438